

SDGs 達成に向けた宣言書

令和 4年 2月 17日

所在地 〒299-0265

千葉県袖ヶ浦市長浦 580 番地 32

名称 三井化学株式会社 袖ヶ浦センター

代表者 センター長 柴田 真吾

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDGs 目標（ゴール）（※該当するゴールに○を入れてください）

① 貧困 1 貧困をなくそう	<input type="checkbox"/>	② 飢餓 2 飢餓をゼロに	<input type="checkbox"/>	③保健 3 すべての人に健康と福祉を	<input type="checkbox"/>	④ 教育 4 質の高い教育をみんなに	<input type="checkbox"/>
④ ジェンダ 5 ジェンダー平等を世界中に実現しよう	<input type="checkbox"/>	⑥水・衛生 6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/>	⑦エネルギー 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	<input type="checkbox"/>	⑧成長・雇用 8 働きがいも経済成長も	<input type="checkbox"/>
⑨イノベーション 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	<input type="checkbox"/>	⑩不平等 10 人や国の不平等をなくそう	<input type="checkbox"/>	⑪都市 11 住み続けられるまちづくりを	<input type="checkbox"/>	⑫消費・生産 12 つくる責任 つかう責任	<input type="checkbox"/>
⑬気候変動 13 気候変動に具体的な対策を	<input type="checkbox"/>	⑭海洋資源 14 海の豊かさを守ろう	<input type="checkbox"/>	⑮陸上資源 15 陸の豊かさも守ろう	<input type="checkbox"/>	⑯平和 16 平和と公正をすべての人に	<input type="checkbox"/>
⑰実施手段 17 パートナリシップで目標を達成しよう	<input type="checkbox"/>						

2 SDGs達成に向けた経営方針等

三井化学グループはこれまで化学製品や高機能プラスチックの提供を通じてエネルギーの効率改善やフードロス削減など、生活の利便性向上や社会課題の解決に対して貢献してきました。

一方、その事業活動においては、多くの化石資源・エネルギーを使用し、GHGを排出しています。また近年では、海洋に流出したプラスチックごみによる環境汚染が懸念されています。こうした気候変動とプラスチック問題についても、当社グループは真摯に取り組むべき重要な社会課題であると捉えています。

これらの課題解決には、資源を消費して廃棄するという一方通行の経済から、資源を効率的に利用し、再生可能資源を使用するとともに、資源の回収・再利用により廃棄物を出さないサーキュラーエコノミーへの転換が必須だと考えます。当社グループではライフサイクルアセスメントの観点を導入し、気候変動とプラスチック問題の両面からサーキュラーエコノミーの実現を目指して取り組んでいます。

三井化学は以下のような社会を目指しています。

- ・環境と調和した循環型社会（サーキュラーエコノミーへの転換）
- ・多様な価値を生み出す包摂社会（多様な価値連鎖の追求）
- ・健康、安心にくらせる快適社会（柔軟かつ強靱な社会）

参考リンク：

[VISION 2030 | 三井化学株式会社 \(mitsuichemicals.com\)](https://www.mitsui-chemicals.com/2030)